

世代をつなぐ会立ち上げパーティー

(8日、東京都港区の品川プリンスホテル)

人生の先輩の貴重な経験を、若い世代に継承できた。

そんな願いを現実のものとするため、学生の就職をサポートする会社「就職課」創業者の内田雅章氏(40)らが発起人となり、「世代をつなぐ会」を発足させた。

パーティーには、10代の学生から、働き盛りの社会人、60、70代の会社経営者まで約250人が参加。世代ごとに異なる色のシールをほり、参加費も10代2千円、60代以上1万2千円と世代間で差を付けた。

「年齢は他人と比べるものではなく、自分自身と向き合うもの。若い人のチャ

集う

「チャレンジ精神支える先輩になろう」

レンジ精神を支える先輩になろう」。若手から先輩と移っていく世代の熱い思いを口にしたのは、40代代表の韓裕・マルハン社長だ。30代代表の元谷拓・アパホテル専務、20代代表の関香果・KAGUMIホールディングス社長ら若い経営者は、先輩と触れあい、学べる機会を大切にしようと呼びかけた。

会場では、起業家をめざす学生ら若い世代に囲まれ、にこやかに談笑する。「先輩」の姿が目立った。50代代表の沢田秀雄・HIS会長は、「内向き」といわれる若者世代に視野と可能性を広げるようエールを送った。「新しいことにチャレンジしないと、新しいものは生まれない。大きな夢を思い描き、たくさん動いてください」。60代代表の横浜プリキのおもちゃ博物館の北原照久館長は、夢を実現させるのは人だと訴えた。

「『今の若い者は』と言うのは絶対に禁句。坂本龍馬も『今の若い者は』と言われたはず。若い人を非難してはいけません」と、先輩風をいさめたのは70代代表でドトールコーヒーの鳥羽博道名誉会長だ。「この国を救うため、そして次世代につなぐため、がんばっていきなさい」との言葉に、この日一番の拍手が送られた。

ドトールコーヒーの鳥羽博道名誉会長(中央)や横浜プリキのおもちゃ博物館の北原照久館長(右から2人目)、マルハンの韓裕社長(右)ら各世代が集まった



(道丸摩耶)